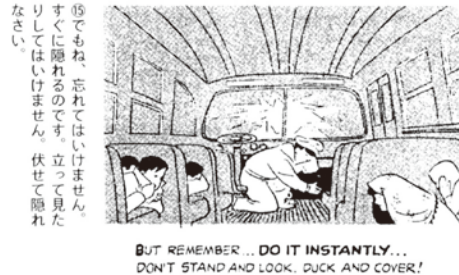


座禅洞だより

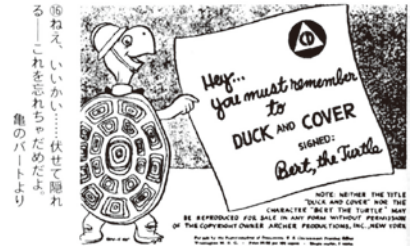
■ 岐阜環境医学研究所・座禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診察日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00、
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/

158号 2017.5.1.
 毎月1回発行 座禅洞診療所 松井英介

伏せて隠れる？！



松井英介



びっくりするようなニュースが飛び込んできます。

2017年4月29日朝6:07amころから10分ほど、東京メトロ全線とJR西日本北陸新幹線は運転を見合わせました。午前5時半ころ「北朝鮮」がミサイルを発射したとの速報に対応したものです。「過剰反応」との批判が出ています。

米原子力空母カール・ビンソンが旭日旗を掲げた複数の自衛艦を伴って日本海に入りました。米空母の日本海進入は異例です。釜山には米原子力潜水艦が入港。横須賀には米原子力空母ドナルド・レーガンが居座っています。また合衆国は、こともあろうに、マーシャル海域に向けてICBM（大陸間弾道ミサイル）の発射実験を行いました。

6年前に大事故を起こした福島第一原発一号機は米潜水艦用に設計されたものですが、横須賀、釜山そして日本海に、合衆国は“移動原発”を配備したと評価すべきでしょう。

4月30日になって、もうひとつびっくりニュースです。

29日海上自衛隊佐世保基地に、フランス海軍の強襲揚陸艦「ミストラル」が寄港しました。日米英仏4カ国による初の合同訓練に参加するためです。「ミストラル」はイギリス海軍のヘリコプターを搭載。朝鮮戦争再開となれば、米英仏軍に自衛隊も加わるぞという意思表示でしょうか！？

岸田外相は28日、国連安全保障理事会閣僚級会合で、合衆国とともに、「『北朝鮮』と意味ある対話を行うのは現状では不可能だ」と強調しました。対話の重要性を主張した中国・ロシアと対照的でした。

「食品と暮らしの安全」5月号は、「核戦争と放射能汚染に備えよう」特集を組んで、「コンクリート建築の中にいたら、外に出ないように」「外にいたら、窪地を探して身を伏せましょう」などと呼びかけています¹⁾。これを読んだとき、私は1950年代初めの米原爆防護対策アニメーション「ダック・アンド・カバー（伏せて隠れる）」²⁾を思い出しました。このアニメは、熱射と爆風さえ逃れることができれば核は怖れるに足らずと、放射性降下物による内部被曝を完全に無視したものでした。

「毒又ハ毒ヲ施シタル兵器ヲ使用スルコト」を禁じた1899年（1907年改正）のハーグ条約陸戦規約23条2)に立ちかえる時です。アメリカ合衆国、朝鮮民主主義人民共和国、韓国、中国、ロシアそして日本政府に、軍事行動ではなく対話「6カ国協議」のテーブルにつくよう、強く求めましょう。

(文献)

1) NPO法人食品と暮らしの安全基金（日本子孫基金）「食品と暮らしの安全」（2017.5 No. 337）P.2-7

2) 高橋博子「増補改訂版封印されたヒロシマ・ナガサキー米核実験と民間防衛計画一」（2012年）凱風社 P. 25、P. 30-2